

ようこそ新入組合員の皆さん

4～5月で、新年度に入社した社員の各労組への加入があった。加入していただいた皆さんが入って良かったと実感できるようなしっかりとした活動を行うとともに情報発信にも力を入れていきたい。

◆JR九州労組 佐賀支部

- ・ 新卒採用 8名 (100%)
- ・ 経験者採用 7名 (100%)
- ・ サービスサポートからの転籍 19名 (95%)

◆JR九州バス労組 嬉野分会

- ・ 経験者採用 1名 (100%)

一人は皆のために！
皆は一人のために！



JR連合九州地協 県協代表者会議に参加

6月7日、福岡市内においてJR連合九州地方協議会が「JR連合九州地協各県協代表者会議」を開催した。佐賀県協からは、吉田春菜議長と森永克章副議長の2名が代表で参加した。

第1部では、九州地協や各県協のこれまでの取り組みが報告され、今後の取り組みや貨物鉄産労九州の民主化闘争の取り組みを協議した。また、産業政策実現に向けた取り組みとしてJR連合が策定した各提言をそれぞれの県協で積極的に周知していくことなどを確認した。

第2部では、JR連合宮野勇馬企画局長を講師に迎え「JR連合を取り巻く情勢と連合中央会費制度について」と題した講義が行われた。取り巻く情勢では、労基法の改正をめぐる現在の動きやJR連合の提言活動(路線、駅、運賃のあり方)等が提起され、参加者たちは熱心に聞き入っていた。質疑では、森永副議長が「連合の重点政策の項目に公共交通や鉄道がないと、県連合レベルで協議しても県への政策要望に入れづらく、結果として県の予算に組み込まれにくいという実態がある。JR連合から連合に対してもっとアピールをして欲しい」と発言し、宮野局長からは「今後、力を入れていきたい」と答弁された。



挨拶を行う九州地協の吉田祥司議長



第2部の講師を務めた宮野局長